

2020年3月期
第3四半期 決算説明資料
(2019年4月～2019年12月)

アサヒホールディングス株式会社

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

Copyright © Asahi Holdings, Inc. All rights reserved.

〔単位：億円〕

	2018年度 3Q累計	2019年度 3Q累計	差異	2019年度 通期予想※2
売上収益	784	991	+207	1,350
営業利益	96	139	+43	190
営業利益率	12.2%	14.0%	-	14.1%
税引前利益	89	121	+32	167
当期利益※1	63	64	+1	94
設備投資	16	23	+7	48
減価償却	17	22	+4	24

※1 親会社の所有者に帰属する当期利益

※2 2020年1月31日公表の修正予想

Copyright © Asahi Holdings, Inc. All rights reserved.


連結業績のポイント

営業利益	<ul style="list-style-type: none"> ■ 3Q累計：138.9億円（過去最高益を更新） 前年同期比+43.0億円 【セグメント別内訳】 貴金属事業 +36.8億円 環境保全事業 +4.0億円 その他 +2.2億円
税引前利益	<ul style="list-style-type: none"> ■ 3Q累計：120.7億円（過去最高益を更新） 前年同期比+31.9億円
親会社の所有者に帰属する当期利益	<ul style="list-style-type: none"> ■ 3Q累計：64.0億円 前年同期比+1.3億円 税引前利益の対前年増加額31.9億円と比較して、当期利益の対前年増加額は微増 (フロリダ子会社の固定資産減損損失、フジ医療器の持分譲渡に関わる法人税や継続保有株式再評価損の影響等による)
配当	<ul style="list-style-type: none"> ■ 配当方針「連結純利益の50%以上をめどに配当」 2019年度の配当予想：年間130円 前回予想(2019/5/8発表)より1株当たり10円の増配

業績予想の修正について

- アサヒファイニングフロリダの金銀精錬設備の廃棄に伴う減損損失により、通期の業績予想を修正。
- 貴金属リサイクル分野及び環境保全分野は堅調に推移しており、営業利益、税引前利益は過去最高となる見込み。

<2019年度通期の業績予想>

[単位：億円]

	前回予想	修正後予想	差異	差異率
売上収益	1,350	1,350	-	-
営業利益	190	190	-	-
営業利益率	14.1%	14.1%	-	-
税引前利益	168	167	▲1	▲0.6%
当期利益※	102	94	▲8	▲7.8%

※親会社の所有者に帰属する当期利益

Copyright © Asahi Holdings, Inc. All rights reserved.

フジ医療器の持分譲渡について

- 当社連結子会社であるフジ医療器株式の60%をジョンソンヘルステック社に譲渡。
- 健康関連機器の世界的大手のジョンソンヘルステック社との協業を通じて、海外市場でフジ医療器ブランドの展開を加速させ、数年後の株式公開を目指す。

■ 主な日程

2019年10月29日：基本合意書締結

2019年12月20日：株式譲渡契約締結

2020年2月中：株式譲渡日（予定）

フジ医療器は、第3四半期決算において非継続事業として分類され、第4四半期決算において支配喪失により連結子会社から外れる見込み。

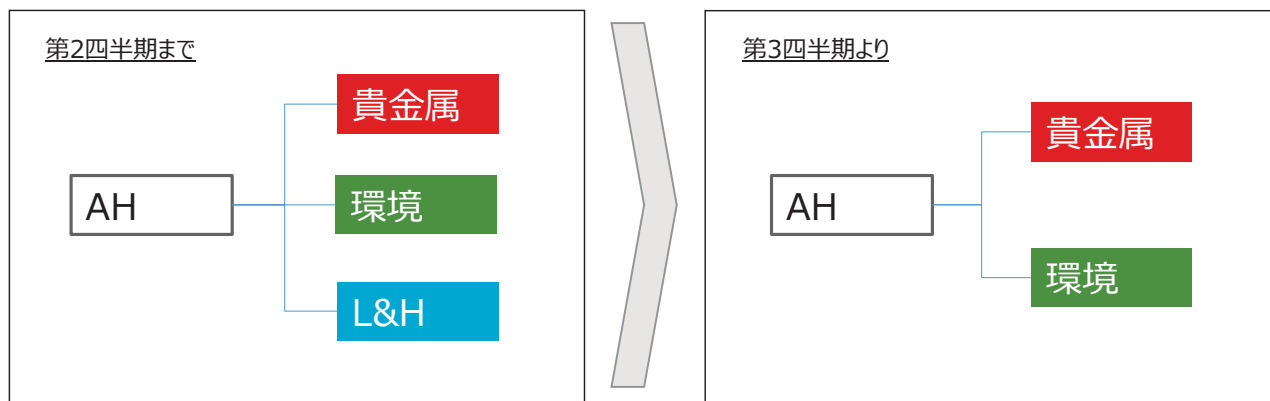
ジョンソンヘルステック社 

- ✓ 1975年創業。フィットネス機器等の製造・販売を行う。
- ✓ 全世界に30の子会社、300強の直営店を持つ世界的な大手企業。
- ✓ 本社は台湾の台中市。台湾証券取引所に上場。



AW セグメントの変更について

- フジ医療器が非継続事業として分類されたため、第3四半期よりセグメント区分を変更。
- これまでフジ医療器を核として形成していた「ライフ&ヘルス」セグメントを廃止し、3セグメントから2セグメントへ集約。
- 今後は「貴金属」セグメントと「環境保全」セグメントに経営資源を集中し、企業価値の増大に取り組む。



「ライフ&ヘルス」セグメントに属していた株式会社インターセントラルは「環境保全」セグメントへ移行し、空調設備の開発・施工等を通して省エネルギー社会の実現に貢献する。

Copyright © Asahi Holdings, Inc. All rights reserved.

AW セグメント別 3Q累計実績

〔単位：億円〕

		2018年度 3Q累計	2019年度 3Q累計	差異
貴金属	売上収益	624	828	+204
	営業利益	87	124	+37
環境保全	売上収益	141	153	+11
	営業利益	26	30	+4
連結	売上収益	784	991	+207
	営業利益	96	139	+43

(単位：億円)

		2018年度 通期実績	2019年度 通期予想	差異
貴金属	売上収益	878	1,130	+252
	営業利益	120	171	+51
環境保全	売上収益	194	210	+16
	営業利益	39	41	+2
連結	売上収益	1,287	1,350	+63
	営業利益	145	190	+45

Copyright © Asahi Holdings, Inc. All rights reserved.

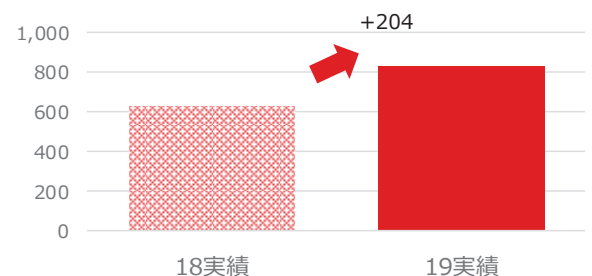
AW セグメント業績 (貴金属)

- 3Q累計：国内および韓国・マレーシアの貴金属リサイクル分野、北米の貴金属精錬分野ともに堅調に推移し、増収・増益
- 通期：期初の計画を上回る回収量と高い相場を背景に、大幅な増収・増益を見込む

(単位：億円)

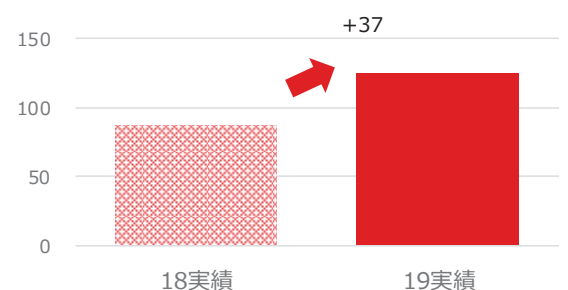
3Q累計	18実績	19実績
売上収益	624	828
営業利益	87	124
営業利益率	13.9%	15.0%

[売上収益]



通期	18実績	19予想
売上収益	878	1,130
営業利益	120	171
営業利益率	13.7%	15.1%

[営業利益]



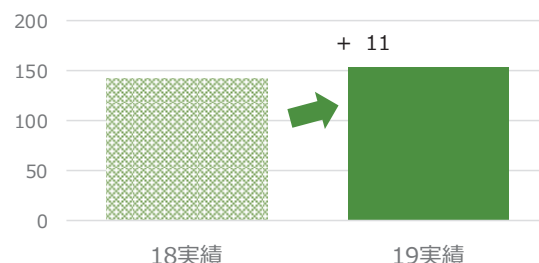
セグメント業績 (環境保全)

- 3Q累計：各事業会社の長を活かしてサービスを提供する営業体制を強化し、新規案件の獲得等に努め、増収・増益
- 通期：引き続き堅調な市況等を背景に増収・増益を見込む

3Q累計	18実績	19実績
売上収益	141	153
営業利益	26	30
営業利益率	18.6%	19.8%

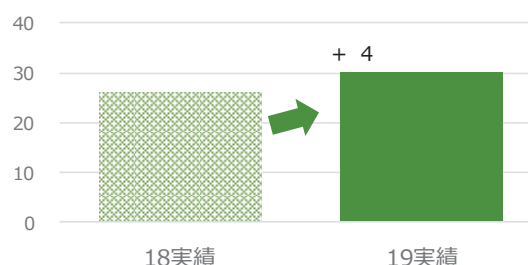
[売上収益]

(単位：億円)



通期	18実績	19予想
売上収益	194	210
営業利益	39	41
営業利益率	19.8%	19.5%

[営業利益]



Copyright © Asahi Holdings, Inc. All rights reserved.

【参考】 資産・負債及び資本の状況

- 北米金融事業の拡大による影響で、流動資産と流動負債が増加。

(単位：億円)

区分	2019年3月末	2019年12月末	増減額	主な増減要因	
資産	1,603	2,266	+663		
流動資産	1,138	1,885	+747	営業債権及びその他の債権 +597	北米金融事業と調達手段変更による影響大
非流動資産	465	381	▲84		
負債	925	1,577	+653		
流動負債	897	1,532	+635	短期借入金 +632	北米金融事業と調達手段変更による影響大
非流動負債	28	46	+18		
資本合計	678	688	+10		

※前年同期比較の為、2019年3月末の非流動負債のうち長期借入金を流動負債に振り替えている。

【参考】 キャッシュ・フローの状況

■ 北米金融事業の拡大による影響で、営業CFがマイナス。

[単位：億円]

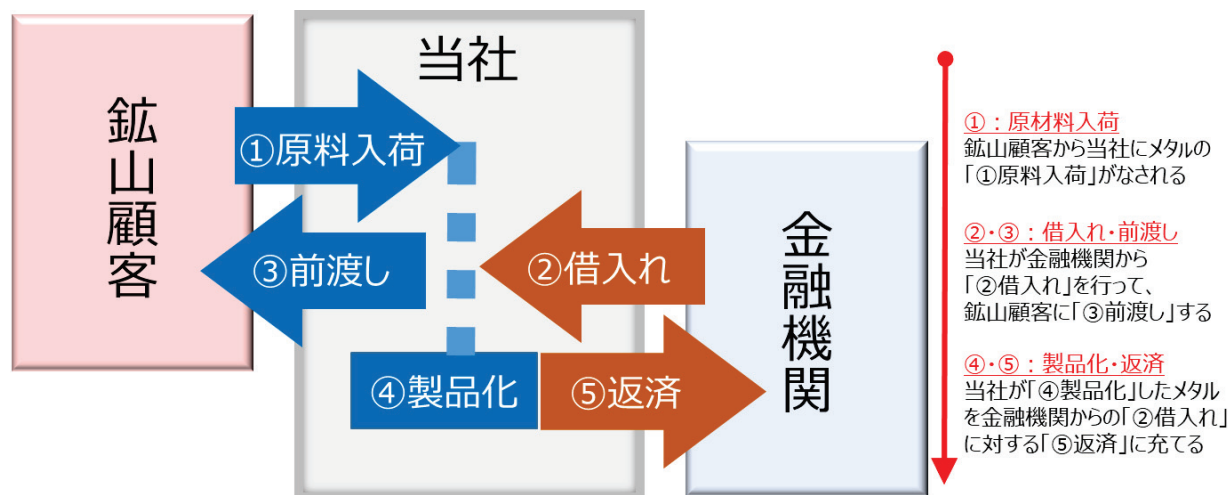
区分	項目名	2019年度 3Q累計	主な要因	(参考) 前年同期
営業CF	税引前利益	121		92
	減価償却費及び償却費	22		17
	営業債権及びその他の債権の増減額 (▲は増加)	▲605	北米金融事業と調達手段変更による影響大	▲267
	その他	▲96		▲64
	小計	▲559		▲221
投資CF	有形固定資産の取得による支出	▲21		▲17
	その他	1		▲0
	小計	▲20		▲17
財務CF	短期借入金の純増減額 (+は増加)	610	北米金融事業と調達手段変更による影響大	247
	その他	▲51		▲53
	小計	560		194
現金及び現金同等物の期末残高		141		198

Copyright © Asahi Holdings, Inc. All rights reserved.

【参考】 前渡し取引（北米金融事業の代表例）

前渡し取引：北米の貴金属精錬取引では顧客の鉱山会社から預かる原材料について、通常は入荷から製品の返却まで約1週間掛かるが、顧客によってはそれよりも早期での返却を希望されることがある。この要望を受けて、通常の納期よりも早期に製品を返却することで、顧客の鉱山会社から「前渡し日数に応じた金利の支払」を受領する取引。原則として原材料を受領してから前渡しを行うため、貸し倒れとなるリスクは極めて限定的である。

■フロー図：原材料入荷～前渡し～返済



当社が工場内で金原材料を金地金に精錬するのを待たずに早期の金地金返却を行うには、外部から金地金を調達する必要があるが、その調達手段は以下の2通り。その時々金融市場動向をみながら、選択をしている。

調達手段	科目	営業利益への影響
邦銀からのドル借入れ（それによる金の購入）	金融費用	なし（税引前利益以下の項目に影響）
プリオンバンクからの金のリース	営業費用	あり

【参考】北米収益の拡がり

- 北米子会社アサヒファイニング（以下、AR）の事業は、鉱山からの金銀精錬の受託加工取引が中心であるが、精錬をプラットフォームとして、収益源泉の多様化に努めている。
- 特に金融事業については、リスクを抑制したスキームの開発と活用に努めた結果、ARの事業収益の柱のひとつとなっており、今後も一層の拡大を計画している。



Copyright © Asahi Holdings, Inc. All rights reserved.

金属価格推移 [金・銀]

[単位：円/g]



Copyright © Asahi Holdings, Inc. All rights reserved.



金属価格推移 [パラジウム・プラチナ]

[単位: 円/g]

パラジウム



プラチナ



Copyright © Asahi Holdings, Inc. All rights reserved.



価格推移 [金USD / Toz , ドル円]

金 USD / Toz



ドル / 円



Copyright © Asahi Holdings, Inc. All rights reserved.